2009 コミュニケーション研修会

募集対象　ジュニアリーダーから大人　**活動期間** 平成22年1月30日、31日

実施団体名　Goppoええぞなクラブ
連絡先　〒755-0241　山口県宇部市東岐波丸尾4138番地-11
TEL:0836-39-6336　FAX:0836-39-6336
E-mail:goppoeezona@yahoo.co.jp　URL:http://goppoeezona.ddo.jp/

活動の概要

地域活動を実施する上で一番大切なのはコミュニケーション能力です。しかし、最近その能力低下が問題と言われており、そのため色々な社会事件も起きています。そこで、子どもたちを指導する大人に対して構成的グループエンカウンター(SGE)とコーチングの手法を用いて、コミュニケーションの取り方や本質を理解するための研修を企画・実施しました。

今回の研修により、参加者は自分自身を振り返り、自己理解・他者理解を深めることができ、指導力の向上を図ることができました。その結果、子どもたちをより良く理解し、子どもたち自身が自発的に動く様な働きかけができる技術が身につけられました。

活動の内容

宇部市立東岐波中学校会議室で2日間のワークショップを開催しました。

講師：
林伸一
(山口大学 人文学部教授 上級日本教育カウンセラー
山口県教育カウンセラー協会 代表)
温品富美子
(日本コーチ協会山口支部 代表
(財)生涯学習開発財団 認定コーチ)

■1日目(参加者：男性7名、女性3名)

午前中、林先生よりSGEについて解説があり、その後エクササイズ体験をしました。スタートとして「私の病気自慢(自己紹介・自己開示)」を行い、一変に会場が和やかな雰囲気になりました。エクササイズの内容は、2人組になりお互い握手し、どちらかが「実はこう見えても～～の病気を持っている。○○です。」と自己紹介します。後の方が同じように「実はこう見えても～～の病気を持っている。○○です。」とお互いに自己紹介します。次々に相手を変え2分間でなるだけ多くの人と挨拶をしていきます。その後、わりばしウォーク(思いやりの心を育てよう)、今一番ほしいものは何ですか？（反復質問法)、いつ誰に何をしてもらいましたか?(反復内観法)等を体験しました。

午後は、温品講師から、コーチングの基礎フォローアップの講義を受けたことにより、信頼関係がやる気を引き出し、自発的行動につながる方法を学びました。

■2日目(参加者：男性7名、女性4名)

午前中、温品講師より効果的な質問で、モチベーションアップする方法を学びました。

午後は、林先生から、自己理解を深める為のエクササイズ、自分から見た私・他人から見た私「三面鏡」、ほめて、ほめられる体験(他者肯定・他尊感情)等の活動を行い2日間の研修会を終えました。

コーチングでのグループワーク

ジョハリの窓の講義

指導者が参加者にやってもらいたい動作を説明する難しさのワーク

成果と課題

今回の研修内容であるSGEとコーチングについては、地域で知る人はほとんどいない状況で、参加者を集めることに大変苦労しました。しかし、研修が終わると、参加した人からは、次回も参加したいと言う声が多く聞かれ好評でした。また、要項を見て「研修時間が長いのでどんな研修会かと思ったが、座学は少しで、ワークショップ中心だったので時間があっという間に過ぎた感じがした。」と言う感想も多くもらいました。

指導者や親として、子どもたちを育てていく為の研修として企画し、子どもゆめ基金の助成金を受け今回で3回目を実施することができました。また、地域の東岐波子ども連合会の役員が参加され、コーチングの研修内容に共感したことで、その後東岐波子ども連合会役員研修で実施、約70名の親に体験してもらうという波及効果がうまれました。

子どもたちを育て、支えるボランティア団体の役員の方や多くの方に体験してもらえると、その後の広がりがうまれていきます。今後も、地域が活発になるよう指導者の研修会を企画し、地域の方々に提供していきたいと考えています。

団体の概要

宇部市東岐波地区で文部科学省が推進している総合型地域スポーツクラブです。地域の人々のみの組織で活動拠点を確保し、日々色々なスポーツを実施しています。特にウォーキングでは、ただ歩くだけでなく道ばたに落ちているゴミを拾い集めて、道路が快適になり、気持ちも快適になる快適ウォークが注目を集めています。

海っ子山っ子交流タイム

募集対象　小学4、5、6年生の男女　**活動期間** 平成21年7月24日～26日(2泊3日)、8月7日～9日(2泊3日)

実施団体名　地域間交流実行委員会
連絡先　〒811-3308　福岡県福津市星ヶ丘14-3
TEL:0940-52-5675　FAX:0940-52-5675
E-mail:krskm8522@yahoo.co.jp

活動の概要

地域間交流実行委員会の企画「海っ子山っ子交流キャンプ」は、海浜地区の福津市の子ども達と山間地区の熊本県山鹿市菊鹿町の子ども達が、それぞれの自然の中で豊かな体験活動、様々な人との交流を行う活動です。

今まで体験したことのない海や川で泳いだり、夜空の星を眺めたり、たくさんの人と出会ったり、子ども達が夢を持つたくましい青少年へと成長することを目指し活動を行いました。

活動の内容

■山っ子(山鹿市)が福津市へ
2泊3日(7/24～7/26)

海の活動①～(1日目)
安全に活動をするためライフジャケット使い方、海の自然、緊急時についての指導を受ける。ビーチコーミング、遊泳(雨のため、時間短縮)
夜は、「音楽ランド」との交流(コンサートタイム、音あそび)

音楽ランド：知的障がいの子どもたちで構成された音楽バンド。聴く、感じる、奏でる音楽を活動の中に取り入れた音楽広場(福岡県筑紫野市を拠点に活動中)

海の活動②～(2日目)
雨天のため、室内にて「環境についての学習」を行う。
福津市にすむカブトガニ、産卵にやって来るウミガメの生態などを学ぶ。

海の活動③～(2日目)
九州造形短期大学の学生と砂像作りに挑戦
＊7月25日(土)夜から、福岡県は大雨洪水で地域でも大きな被害や断水などもあったが、事故もなく3日間の活動を終えた。
海っ子山っ子交流タイム～キャンプファイヤー

海の活動④～(3日目)
津屋崎漁港朝市見学、漁港にて水揚げされた魚などを見学し、その後海鮮鍋の朝食。
津屋崎千軒「なごみ」見学(福津市の山笠、福津市36景など)

大きな砂像つくりに挑戦！

■海っ子(福津市)が山鹿市へ
2泊3日(8/7～8/9)

山の活動①～竹食器作り(1日目)
(3日間使う食器やハシを作る)

山の活動②～川遊び(1日目)
夜は、天体観測(大型の双眼鏡で木星などを観察する。)

山の活動活動③～水力発電所(2日目)
(菊鹿発電所)見学
(ダムや電力、自然エネルギーについて、熊本県企業局のかたから話をしてもらい、発電所の内部を見学。)

山の活動活動④～川遊び(2日目)
そうめん流しで昼食、そして川で獲れたヤマメの串焼きをいただく。
海っ子山っ子交流タイム～キャンプファイヤー

待望の川遊び☆

海っ子、竹食器つくりを体験

山の活動活動⑤～(3日目)
「あんずの丘」押し花館にて、押し花ハガキを作成、「山鹿市立博物館」を見学。

成果と課題

実行委員会を立ち上げ計画から実施までに1年間を要した。福岡県と熊本県ということで、何度も両市を訪問し実施できた。九州内の全く違った環境に住む子どもたちが、これまでに味わったことのない様々な体験を行うことができたと同時に、自分の住む地域の環境をあらためて知ることができたことも大きな成果だった。

子どもの活動中はそれぞれ地元の方の協力で、大変豊かな活動へとつながった。子どもの体験を支える地域のあたたかさを強く感じた。今後も子どもを通じた両市の活性化にもつながることに期待したい。

課題としては、子どもの成長と共にこの活動が長く続くような体制づくりをすること。また、夏のキャンプだけではなく春夏秋冬を通し、環境の違いを学べるような活動を目指すことも大きな課題である。

海っ子山っ子交流タイム

団体の概要

福津市内、山鹿市内でそれぞれ健全な青少年育成をめざした活動を展開している団体で平成20年9月実行委員会を結成。体験活動の中に生活する自然環境の違いを理解し、交流・体験のために福津市・山鹿市内の役員7名で構成。それぞれの市で活動する指導スキルを活かし、実行委員会を結成した。
自然環境が異なる福岡県福津市と熊本県山鹿市の子どもたちが相互交流することにより、自然環境のすばらしさを認識し、交流の輪を広げることを目的にした活動をすすめる。

ふるさとの伝統文化体験交流
実施団体／えのみや睦会チャレンジクラブ

- 活動期間／６月11日（日）～12月23日（土）日帰り12回
- 活動場所／上八万体育館
- 募集地域／徳島市上八万町、下町、一宮町
- 募集対象／小学生（１～６年生)、中学生、保護者
- 募集方法／チラシ（配布先：小・中学校、子供会、児童館）
- 構成員数／９人
- 連 絡 先／〒770-8040　徳島市上八万町上中筋560番地　上八万体育館内
  電話：088-668-0167　Fax：088-668-0167

神踊り体験

祭りばやし体験

●活動のねらいとポイント

古より代々受け継いできた郷土が誇るすばらしい多くの伝統文化に体験を通じてふれあい、交流を深めることをねらいとします。

具体的なプログラム名	主なポイント
ふるさとの伝統文化の学習・交流	古からふるさとに伝わる伝統文化について、由来や意義、歴史を学習する。各地区の子供会のメンバー等との交流を行う。
神踊り体験・交流	平安時代からこの地に伝わる徳島県指定無形民俗文化財の「神踊り」について、歌い方、踊り方等を学ぶ。各地区の子供会のメンバー等との交流を行う。地域のお年寄り等と交流する。
祭ばやし体験・交流	江戸時代中期から、ふるさとに伝わってきた祭ばやしの大太鼓、締太鼓の打ち方、鉦のたたき方、笙や篠笛の吹き方等を地域のお年寄りから学び、練習を積んで、秋祭りに参加する。夏休み、冬休みを中心に、各地区のお年寄りや子供会との学習交流を図る。

●参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】
・活動地域の上八万町、一宮町ともにクリニックがあり、事故等の対応をお願いしている。
・活動中は保護者の付き添いを義務付けている。
・代表者（医学博士）が指導者としていずれの活動にも付き添い、常に子供たちの安全に気を配っており、必要な措置を講じている。

【健康管理】
・年2回（4月、9月）に保護者から子供たちの健康状態のヒアリングを実施している。
・各活動においては、その都度、始める前に健康状態をチェックし、指導者への報告等を行っている。

●活動の日程・内容

月／日	時間帯	プログラム内容
6/11	9：00～12：00	ふるさとの伝統文化の学習・交流
	12：00～13：00	昼食、休憩
	13：00～14：00	小学校高学年の経験者の体験談を聞き、意見交換などで交流
	14：00～15：00	ふるさと歴史資料館を見学
7/2	9：00～11：30	神踊り体験・交流　「神踊り」のビデオ鑑賞、踊り歌の学習、踊りの学習
7/16	17：00～19：00	祭ばやし体験・交流　「祭りばやし」元組の大太鼓の打ち方を学び、練習
8/6	17：00～19：00	祭ばやし体験・交流　元組の大太鼓、締め太鼓の打ち方を学び、練習
8/13	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　元組の大太鼓、締め太鼓、鉦の演奏の仕方を学び、練習
8/20	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　中筋組の太鼓の打ち方を学び、練習
9/10	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　中筋組の太鼓、笙、手拍子の演奏の仕方を学び、練習
9/17	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　祭りばやしの横笛の演奏の仕方を学び、練習
9/24	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　元組の大太鼓、締め太鼓、鉦と中筋組の太鼓、笙、手拍子を横笛に合わせ合同演奏
10/8	9：00～11：30	祭ばやし体験・交流　元組の大太鼓、締め太鼓、鉦と中筋組の太鼓、笙、手拍子を横笛に合わせ合同演奏

月／日	時間帯	プログラム内容
11/3	11：15	鎮守の森に集合
	11：30～12：00	祭ばやし体験・交流　太鼓等を用いて、祭りばやしの練習成果を発表、披露
	12：00～12：30	秋祭りの祭典を見学
	12：30～13：00	昼食、休憩
	13：00～16：30	幼稚園児や小学生と子供みこしを引いたり、太鼓をたたいて交流（テレビで放映）
	16：30～17：00	お年寄りとのお話タイム（お茶、お菓子）
12/23	13：00～14：30	ふるさとの伝統文化の学習・交流
	14：30～15：00	ティータイム
	15：00～16：30	小学校高学年の経験者の体験談を聞き、意見交換などで交流
	16：30～17：00	準備休憩
	17：00～18：00	お年寄りによる「神踊り」「祭りばやし」の実演を見学

秋祭り体験
(子ども神輿)

神踊りに参加

●活動の成果と課題

(成果)
・小、中学生の子供たちの参加が延べ208名、保護者等が延べ96名あり、活動が地域に認知されてきました。
・徳島県無形民俗文化財の「神踊り」や「屋台神楽」「祭りばやし」などの歴史を学び、体験し、これらの行事に参加することで、ふるさとに誇りを持つようになりました。
・太鼓を打ったり、笛を吹いたりすることで親子で楽しく過ごすことができました。
・特に、秋祭りの行事には、親子で55名もの参加があり、地域のお年寄りや子供たちとのふれあい、交流の場となりました。

(課題)
・活動を支援するボランティアの確保や指導者の育成が課題です。
・地域に根ざした団体として活動の幅を広げるためには広報に工夫が必要です。
・今後、活動を継続するためには、資金の確保についても課題が残ります。

●団体概要

【設 立 年 月】　平成18年５月
【設立の経緯】　平成17年４月、青少年の健全育成、地域における連帯・和づくりを目的に、ボランティア団体の「えのみや睦会」が発足しました。
平成18年５月、地域の子供たちの「体験の場」、「ふれあいの場・交流の場」としてチャレンジクラブが発足しました。
【目　　的】　子供たちがいろいろなことに挑戦し、経験する場を得て、仲間をつくり、楽しく、将来にわたり体を動かすことが好きになることにより、思い出がいっぱいの少年少女期を過ごせるよう、地域が見守り、育てて行くことを目的に、ふるさとの自然を観察、生活体験、伝統文化体験等の行事を行っています。
【構　　成】　会長、副会長、会計、事務局、監査　各１名、運営委員５名（兼３名)、顧問（まちづくり協議会会長、公民館館長、児童館館長）で構成しています。
(70代：１名、60代：２名、40代：５名、30代：１名　　男：３名、女：６名)